

## ACTOR'S WORKSHOP

Peter Goessner



©青二才晃

日程：2013年7月14日(日)&15日(祝)  
(2日間通し。1日のみの参加はできません)

【会場】京王線仙川駅近辺

【応募締切】6月20日(木) 必着

【定員】12名

※選考結果が定員に満たない場合は、6/27(木)まで延長

【参加費】17,000円

【主催】うずめ劇場 <http://uzumenet.com>

## ドイツ人演出家ペーター・ゲスナー指導。 俳優のための実践ワークショップ。

5月に開催したワークショップが好評だったため、7月もやります。

日本で20年にわたって演出家・演劇指導者として活躍するペーター・ゲスナーが、有名戯曲の1シーンについて、演技や戯曲解釈について2日間じっくりと指導する、俳優のための実践的なワークショップです。ヨーロッパと日本の文化に精通したプロの演出家が、日本語で翻訳戯曲の指導をする、日本では珍しい内容です。

ペーターから▶『砂の女←→砂男』公演のために、2日間というワークショップの時間を通して、おもしろい役者と出会いたいと思っています。

### <ワークショップの内容詳細>

事前に戯曲と配役を決め、2日間みっちりシーン・スタディを行ないます。戯曲は、日本でも良く知られたヨーロッパの古典や近代・現代戯曲(例えばチェーホフやビュヒナーの戯曲、ギリシャ悲劇など)の中から選び、2人ずつ6組のペアで、それぞれ違う戯曲のシーンスタディ及び自主稽古を経て、2日目の最後に発表会で締めくくります。

(応募人員により、組の人数等調整)

※参加条件の詳細等は、次ページに記載。

## 2014年2月公演『砂の女←→砂男』関連プロジェクト

演出/ペーター・ゲスナー&天野天街(少年王者館)

この公演を一緒に作るプロジェクトメンバー募集中!

【7月21日開催オーディション】詳細は▶ <http://uzumenet.com>

## ACTOR'S WORKSHOP



### 前回ワークショップ参加者の声

ペーターに具体的なイメージを持って台詞を言うように言われやった時に、自分でもびっくりするくらいの邪悪な部分が出て来て、感情的にならずにエネルギーのある台詞が言えたと思った時があった。自分の中のヤバイ部分に目を背けずに駆使して、それが感傷的にならずに表に出せた時に、表層的ではない説得力のある芝居が出来るのだということに気づかされました。そう気づけた一瞬のためだけにでも今回のワークショップを受けて本当によかったと思いました。

写真は前回ワークショップでの演出風景

### ペーター・ゲスナー プロフィール

1962年生まれ。  
旧東ドイツライプチヒ出身。  
国立ベルリン俳優学校エルンスト・ブッシュで学び、ハレのターリア劇場で演出・俳優を勤める。  
ライプチヒ大学で演劇学修士取得。1993年来日後、北九州を拠点に劇団うずめ劇場を旗揚。  
2007年より拠点を東京に移す。  
桐朋学園芸術短期大学演劇専攻科准教授。

2000年 第一回利賀演出家コンクールに於いて「紙風船」(岸田國士作)で最優秀演出家賞受賞。  
2006年 新国立劇場NNTドラマスタジオ講師就任。  
2007年 調布市せんがわ劇場芸術監督就任。  
2009年 ゲスナー演出「ピロクテーデス」(ハイナー・ミュラー作)が読売演劇大賞最終候補に選出。



## 台詞を言うときに、次の台詞を考えないで 具体的な誰かを、思い浮かべてやってみて

### ■応募から参加決定までの流れ

①6月20日(木)必着で、写真同封の上裏面の申込書を郵送してください。

写真はスナップ可。上半身・顔が写っているもの。  
※写真はご返却できませんのでご了承ください。

【郵送先】〒182-0003 東京都調布市仙川町1-9-52  
グリニッジヒルズ303 うずめ劇場 担当:松尾 宛

②書類選考後6月24日(月)までに、結果をEmailか電話にてお知らせします。

※6/20(木)締切後、選考結果が定員に満たない場合、6/27(木)まで募集延長。HPにて告知。

### ■参加条件

①2日間、9:00-21:00まで、すべての時間に参加できること。

②事前に戯曲の1シーンと配役をお知らせしますので、ワークショップ当日までに台詞を覚えてくること。

③18歳以上。高校生不可。初心者可。

■お問い合わせ先 [actorsws@uzumenet.com](mailto:actorsws@uzumenet.com)

■主催 うずめ劇場 <http://uzumenet.com/>  
※上記サイトから、WEB申込ができます。